

◎栽培日誌を提出していない場合は、至急、提出下さい。

本年は、結実良好なハウスが多かったため、樹体への影響が心配されます。

次年度に向けて健全な樹勢を維持できるよう、収穫後の防除、施肥、かん水等の管理作業を徹底しましょう。

1. 収穫後管理

(1) ビニールの除去

〔ハダニ類の発生が心配される場合〕

- ・早急に外し、降雨により発生抑制に努める。
- ・サイドのビニールも除去し通気性を良くする。

〔樹体衰弱が著しい場合〕

- ・収穫終了1ヶ月後、梅雨前頃に除去する。

(2) かん水の実施

- ・乾燥する場合：1週間に1度かん水を実施する。双子果対策。

(3) 除草剤

- ・バスタ液剤またはザクサ液剤（収穫前日、3回） 水100～150ℓに薬剤500mlを混用

(4) 礼肥 *全施肥量の50%に抑えられるように。また、樹勢及び本年の収穫量により調整する。

〔例〕10a 当り種粕4～5袋またはケイフン4～5袋、及びマイティ黒ぐろ1～2袋

2. 病虫害防除（年間防除暦参照） 日中高温時の散布は避けましょう。

収穫終了後	水	100ℓ当り	
	展着剤	20ml	
	ダニコングフロアブル	50ml	（前日、1回）
	キンセツ水和剤80	100g	（収穫後～落葉期、3回）
	劇 スプラサイド水和剤	66g	（7日前、3回）
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴600ℓ		
対象病虫害	ハダニ類、せん孔病、カイガラムシ類、カメムシ類、ショウジョウバエ		
注意事項	キンセツ水和剤は、葉が軟弱傾向な場合や散布時間に注意する。（葉の薬害） 薬害が心配される場合は、 <u>クレフノン100倍を加用する</u>		

◎カイガラムシ類の発生園 特別散布

アプロードフロアブル 1,000倍（収穫7日前、2回）を枝・幹までタツプリ散布する。

除覆10日後 （6月中旬）	水	100ℓ当り	
	展着剤	20ml	
	オキシラン水和剤	166g	（収穫後～落葉期、3回）
	劇 ダイアジノン水和剤34	100g	（14日前、2回）
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴600ℓ		
適用病虫害	せん孔病、アメリカシロヒトリ、ハマキムシ類		
注意事項	スリップス、ナミハダニを増やさないために除草を定期的実施する。		

今後のハダニ類防除剤

コロマイト乳剤・カネマイトフロアブルなどをローテーション散布